

はじめに

文字のよみかきや日常の会話に課題のある人々がおられるということは、
基本的な人権に深くかかわる極めて重要な課題です。

大阪府内においては、さまざまな形態で、識字・日本語教室が開設され、よ
みかきや日常の会話の学習に取り組まれています。

学習をすすめる上では、系統的な学習と並行して、学習者の興味や関心
のある事柄、日常生活での疑問などを題材に、多くの方々と「おしゃべり」を
することが効果的だと言われています。

そのためには、今まで以上に多様な地域の人材が関わることによるよみ
かきや日常会話の学習を進めていく必要があります。

それは、支援者と学習者の双方が共に学び、同じ地域に住む者として共に
暮らし、生きることにつながるものです。

しかしながら、地域住民の中には、専門的なスキルを身に付けなければ、
識字・日本語教室で活動できないと思われ、躊躇されているの方々がおられます。

多くの方々が、交流を中心とした学習活動へ参加していただくには、不安
を解消し、参加しやすい環境を整えていかなければなりません。

そこで、このたび、地域の誰もが、学習者と関わる場合の道標となり、学習
者も利用できる「もっとしゃべろ!! ～自分でつくる学習ノート～」を作成し
ました。

この教材を府内の識字・日本語教室関係者をはじめとする多くの方々に
ご利用いただき、学習者とともに学びが深まっていくことを期待しています。

最後になりましたが、教材作成にご協力いただきました関係の皆さまに改
めてお礼申し上げます。

平成22年3月
へいせい にじゅうにねんさんがつ

人権教育推進のための調査研究
じんけんきょうすいすいしん ちやうさけんきゅう

大阪府市町村協議会
おおさかふしちやうそんきやうぎかい

会長 太田 浩二
かいちやう おおた こうじ